

神戸・三宮で製菓販売業として創業後、大判焼、ホットドッグなどの移動販売を経ておしぼりの製造を始め、特化した。「わくわくしようよ」という経営スローガンを掲げる。

高付加価値おしぼりで差別化

飲食店などで出される布おしぼりの製造・レンタル業を手がける上野商事。加古川工場にはおしぼりのクリーニングから梱包までを行う最新の一貫製造ラインが整備されている。同社の

強みは、業界では珍しくデイスポ（使い捨て）おしぼりも製造している点だ。すべてのおしぼりづくりで心がけるのが「安心、清潔」。価格競争が激しくなる中、上野一人社長は「コストを抑えようとすればどうしても何かがおろそかになる」と、他社とは一線を画し、素材、消毒薬液にこだわった高付加価値おしぼりで独自路線を貫いている。

2009年、創業者である父の跡を受け、経営を引き継いだ上野社長がまず取り組んだのが、同族色の一掃。今では管理職への登用は年齢を問わず、実力主義で判断し、ポータスも社員同士の評価ポイントで配分している。課長職、係長職の大半が入

社3年目以内の社員だ。

社員とともに第2創業の思いで

さらに取り組んだのが、高付加価値路線への転換。デイスポおしぼりでは、素材に紙はほと



加古川工場に導入されている最新の洗浄設備

んど使わず、強度が強く、肌触りの良いコットン製に注力。院内感染を避けたい病院や介護施設などを中心に大型のコットンおしぼりの売り上げを伸ばしている。包装材のデザインにも工夫を凝らす。アイドルのコンサ

ート用はファンが喜びそうなデザイン、和食レストランでは和紙を張るなど、独自の提案で顧客の期待を超える商品を企画開発している。新卒社員の採用を復活させるのは、「今、第2創業という気持ちで新しいことに取り組んでいる会社とともに成長していく社員を育てていきたいから」と上野社長。「まずは仕事を楽しむことを大切にしてほしい」と呼びかける。



抗ウイルス性能を持つ布おしぼり

取材を終えて

社長就任以来、社風の変革にも取り組んできた上野社長。「社員が思いついたことは自由にやらせている」と話すしており、社員提案の新規事業も育ちつつある。向上心のある社員にとってはやりがいを感じられる職場だ。

企業データ

- 創業・設立 / 1952年7月
- 資本金 / 1,000万円
- 売上高 / 4億6,000万円(2011年度)
4億6,000万円(2012年度)
4億8,000万円(2013年度)
- 従業員数(平均年齢) / 60人(40歳)
- 初任給 大卒・基本給 / 154,000円 諸手当 40,000円
高卒・基本給 / — 諸手当 —
- 福利厚生 / 各種社会保険、社員食堂
- 休日・休暇 / 完全週休2日制、夏季・年末年始休暇
- 離職者(30歳未満) / 2011年度0人、2012年度0人、2013年度0人



既存の枠にとらわれな
い発想ので
きる人。今ある仕事
を、自分でわくわく
する内容に変えて
いける行動力のある
人。

2015年度採用予定 採用実績(30歳未満の社員)

未定	2011年度 0名	うち女子0名	2012年度 0名	うち女子0名	2013年度 1名	うち女子1名
----	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------